

平成 2 1 年度事業報告

(平成 2 1 年 4 月 1 日から平成 2 2 年 3 月 3 1 日まで)

1 会議の開催状況 (評議員会、理事会、技術審査委員会、地域技術選定委員会)

2 1 . 4 . 2 3 第 1 回評議員会 (書面表決)

- 議案 第 1 号 平成 21 年度事業計画の変更について
- 議案 第 2 号 平成 21 年度収支予算の変更について
- 議案 第 3 号 役員の辞任ならびに選任について

第 1 回理事会 (書面表決)

- 議案 第 1 号 平成 21 年度事業計画の変更について
- 議案 第 2 号 平成 21 年度収支予算の変更について
- 議案 第 3 号 評議員の辞任ならびに選任について

2 1 . 5 . 2 7 第 2 回評議員会

- 議案 第 1 号 平成 20 年度事業報告について
- 議案 第 2 号 平成 20 年度収支決算について
- 議案 第 3 号 平成 21 年度収支予算の変更について
- 議案 第 4 号 財団法人函館地域産業振興財団寄附行為の一部変更について
- 議案 第 5 号 役員の辞任ならびに選任について
- 議案 第 6 号 任期満了に伴う役員の改選について
- 議案 第 7 号 公益財団法人移行認可申請に係る定款について
- 議案 第 8 号 公益財団法人移行認可申請に係る規程について

第 2 回理事会

- 議案 第 1 号 平成 20 年度事業報告について
- 議案 第 2 号 平成 20 年度収支決算について
- 議案 第 3 号 平成 21 年度収支予算の変更について
- 議案 第 4 号 財団法人函館地域産業振興財団寄附行為の一部変更について
- 議案 第 5 号 評議員の辞任ならびに選任について
- 議案 第 6 号 公益財団法人移行認可申請に係る定款について
- 議案 第 7 号 公益財団法人移行認可申請に係る規程について

2 1 . 7 . 3 技術審査委員会、地域技術選定委員会

- 平成 2 1 年度研究開発助成事業 4 件の審査
- 平成 2 1 年度地域技術起業化助成事業 2 件の審査

2 1 . 8 . 2 7 第 3 回評議員会 (書面表決)

- 議案 第 1 号 評議員会の議長について
- 議案 第 2 号 平成 21 年度事業計画の変更について
- 議案 第 3 号 平成 21 年度収支予算の変更について
- 追加議案 財団法人函館地域産業振興財団寄附行為の一部変更について

第 3 回理事会 (書面表決)

- 議案 第 1 号 役員の改選に伴う理事長及び副理事長の選任について
- 議案 第 2 号 役員の改選に伴う専務理事の選任について
- 議案 第 3 号 平成 21 年度事業計画の変更について

議案 第4号 平成21年度収支予算の変更について
追加議案 財団法人函館地域産業振興財団寄附行為の一部変更について

21.11.16 第4回評議員会（書面表決）

議案 第1号 平成21年度事業計画の変更について
議案 第2号 平成21年度収支予算の変更について

第4回理事会（書面表決）

議案 第1号 平成21年度事業計画の変更について
議案 第2号 平成21年度収支予算の変更について

22.3.24 第5回評議員会

議案 第1号 平成21年度収支予算の変更について
議案 第2号 財団法人函館地域産業振興財団財務規程の一部改正について
議案 第3号 財団法人函館地域産業振興財団旅費規程の一部改正について
議案 第4号 平成22年度事業計画について
議案 第5号 平成22年度収支予算について
議案 第6号 平成22年度運営資金借入限度額について

第5回理事会

議案 第1号 平成21年度収支予算の変更について
議案 第2号 財団法人函館地域産業振興財団財務規程の一部改正について
議案 第3号 財団法人函館地域産業振興財団旅費規程の一部改正について
議案 第4号 平成22年度事業計画について
議案 第5号 平成22年度収支予算について
議案 第6号 平成22年度運営資金借入限度額について
議案 第7号 評議員の任期満了に伴う選任について

2 事業の実施状況

(1) 債務保証・低利融資事業

申込みなし

(2) 研修指導事業

産業技術研修

名称	実施日	実施場所	講師	参加人数
平成21年度産業技術研修会	21年11月6日	工業技術センター	東洋製罐株式会社 千歳工場長 中里誠一氏	27名
パワーポイント作成実技研修会	22年2月3日、4日	函館市産業支援センター	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤智亮氏 遠藤 努氏 吉田侑加氏	12名
食品加工技術講習会	22年2月4日	ロワジュールホテル 函館	(株)日本食品開発研究所 代表取締役 中塚正博氏 株式会社イー・サイエンス 代表取締役 内川 守氏	43名

技術コンサルティング事業

申込みなし

研修生受入れ

受入実績 3名

科学情報の提供

J D R E A M等を利用した特許情報の提供を行った。

(3) 研究開発助成事業

高度技術の開発促進や高度技術を利用する企業の育成のため、次の4件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
北海道ニチモウ株式会社	光ファイバーロープの研究開発	1,596千円
有限会社一久藤田水産	水産物加工品の高品質化に関する研究開発	3,000千円
株式会社マイスター	XAMLフォーマットへの変換ツール及び公開SDK基礎研究開発	3,000千円
株式会社メデック	極小コイル自動巻線機の試作研究開発	2,881千円

(4) 技術者研修助成事業

地域企業の技術者等を先進企業等に派遣して研修を行わせるために要する経費の助成を行った。

助成件数 12件

(5) 自主研究開発事業

自主研究開発事業

地域のニーズを踏まえ、及び地域企業への技術移転も視野に入れ、次のテーマについて研究を行った。

(ア) 雑海藻からの有機酸合成技術の基礎検討

企業課題対応研究事業

企業等が、新製品開発を行う取組みに対し、初期段階でのフォローアップとして、次の3テーマについて試作、検討を行った。

- (ア) 函館地域の海藻を利用した調味液の開発
- (イ) 開閉機構への水素吸蔵合金アキュエータ適合試験
- (ウ) 除雪トラック用視認ボールの開発に向けた明るさ試験

(6) 産学官連携型クラスター整備事業

地域が有する技術、ノウハウ、企業などの産業力と大学等有する知的資源を積極的に活用しながら、地域産業創出に向けたプロジェクトの開発検討等を支援するため、次の4テーマについて研究開発を行った。

- (ア) 超親水性溶液による曇り止め剤の商品開発
- (イ) 色素胞運動能保持を特徴とする発泡イカの輸送技術開発
- (ウ) 鉛フリー丸玉オモリの開発
- (エ) 農水産資源複合麺製品の開発

(7) 新事業展開等促進事業

中小企業早期再生支援事業

(ア) 厳しい経営状況にある中小企業に対し、企業再生を支援するための相談業務を行った。

相談企業 15 件 相談件数 35 件

(イ) 主な活動内容

名称	実施日	実施場所	内容	件数
中小企業再生支援事業に係る広報活動	21年5月15日 ~22年3月3日	道南の信用金庫 及び各関係機関	金融機関及び各関係機関との連携体制の促進、再生事業に係る協力関係を確保するための広報活動の実施。	23件

新事業展開等促進事業

(ア) 企業の経営面、技術面等の課題を解決するため、IMからの助言、他の支援機関や制度の紹介及び専門家の派遣などを行った。 IM：インキュベーション・マネジャー

相談数 65社 延べ200回

専門家派遣の状況

氏名	実施日	派遣先企業名
北海道立食品加工研究センター 科長 田村吉史氏	21年6月16日	(株)陽樹
(有)パディック 代表取締役 角本大弘氏	21年8月13日	(有)ガッツ
食・工房ミイロ トータルフードコーディネータ 高井瑞枝氏	21年8月25日	菓子司水野屋、出口製麺(株)、 (有)ガッツ
(株)三徳 電池材料事業部課長 林 宏樹氏 北海道大学大学院工学研究科 助教 須田孝徳氏	21年10月14日	(株)本間鉄工場
室蘭工業大学 客員教授 町田輝史氏	21年11月9日	(株)函館セコニック
食・工房ミイロ トータルフードコーディネータ 高井瑞枝氏	21年12月15日	根ぼっけ
(株)バルカーセイキ 課長 伊奈正博氏	22年2月10日	(株)本間鉄工場

(イ) 起業家を効率よく支援するための知識の習得や人的ネットワークを形成するため、情報交換会等に参加した。

名 称	実施日	内 容	参加人数
平成 21 年度第 1 回北海道 IM 連携促進会（札幌市）	21 年 5 月 13 日	IM の活動状況報告、情報収集、ノウハウの共有、ネットワークの構築等	2 名
北海道 IM 連携促進会スキルアップ研修（京都市、大津市、長浜市）	21 年 9 月 16 日、17 日	株式会社掘場製作所最高顧問堀場氏との懇談会及び BI 施設の調査等	2 名
平成 21 年度第 2 回北海道 IM 連携促進会（旭川市）	21 年 10 月 27 日	旭川商業高等学校の生徒に対する全国高等学校生徒商業研究発表大会に向けてのアドバイス等	1 名
JBIA シンポジウム（東京都）	22 年 2 月 19 日、20 日	地域産業創造のオリジナルな取り組みをテーマとしたワークショップ等	2 名
北海道 IM 連携促進会 運営委員会（函館市）	22 年 3 月 4 日	道内インキュベーション施設との連携強化と IM のスキルアップを図るため講師を招いての勉強会の実施 講師：日本文理大学 准教授 工藤順一氏 株式会社東京海上日動リスクコンサルティング 川原場正義氏	2 名

(8) 財団活動 PR 事業

財団の支援制度や道立工業技術センターの各種事業の広報活動として次の事業を実施した。

区 分	内 容
PR 事業	渡島・檜山管内の自治体、商工団体、企業を訪問し、工業技術センターの利用促進を図るために各種事業の説明を行った。
WEB サイト更新	函館・道南の頑張っている企業紹介コーナーサイトのリニューアル
メールマガジンの発行	財団・工業技術センターや関連機関の情報発信

(9) 地域力連携拠点事業

函館商工会議所からの受託事業として、渡島・檜山管内の各自治体が登録した地域資源を活用する企業の事業認定に向けた助言、専門家の派遣等を実施した。

地域産業資源活用事業計画認定社数 4 社

企業名	認定日	地域資源名
出口製麺株式会社（函館市）	21 年 7 月 15 日	函館塩ラーメン
株式会社メデック（函館市）	21 年 7 月 15 日	産業用機械と関連加工技術
株式会社天狗堂宝船（七飯町）	21 年 7 月 15 日	牛乳
株式会社ノース技研（函館市）	22 年 2 月 18 日	がごめ昆布

農商工連携認定件数 1 件

企業名	認定日	案件名
中小企業者：福留 誠（七飯町） 農林漁業者：二本柳勝男（函館市）	22 年 2 月 18 日	恵山岬（函館市）の大型ホッケ（通称：根ホッケ）を使ったバッテリー寿司の開発及び販路開拓

専門家派遣の状況

氏名	実施日	派遣先企業名
(有)パディック 代表取締役 角本大弘氏	21年7月28日	(有)ガッツ
アサントテ経営労務事務所 中小企業診断士 手島伸夫氏	21年9月2日	熊石深層水(株)、(株)みよい
食・工房ミイロトータルフードコーディネータ 高井瑞枝氏	21年9月4日	出口製麺(株)
北海道大学大学院 准教授 安井肇氏	21年9月4日	出口製麺(株)
(株)日本食品開発研究所 代表取締役 中塚正博氏	22年1月14日	知内町商工会
MUNCH 美才治真澄氏	22年1月18日、19日	(株)天狗堂宝船、出口製麺(株)

(10) 地域資源活用新商品販売チャンネル支援事業

都市エリア産学官連携促進事業や地域の中小企業との共同研究等により創出された地域資源を活用した多数の新商品について、広域的な販売促進活動の支援を行い、地域企業の販路拡大に努めた。

全国規模の展示会等での販売促進、販路拡大、市場性調査活動

(ア) 出展を行った展示会や商談会

展示会名	実施日	内容
第8回産学官連携推進会議	21年6月20日、21日	がごめ商品等の展示(京都府)
第5回はこだて水産食品展示フェア	21年6月24日	がごめ商品等の展示(函館市)
函館開港150周年記念事業	21年8月8日～16日	がごめ商品等の展示(函館市)
第23回北海道技術・ビジネス交流会	21年11月12日、13日	がごめ商品等の展示(札幌市)
アグリビジネス創出フェア2009	21年11月25日～27日	がごめ商品等の展示(千葉市)
第7回シーフードショー大阪	22年2月16日、17日	がごめ商品等の展示(大阪府)

(イ) 企業の販売支援や商品の市場性調査を行った即売会

即売会名	実施日	場所
大学は美味しい！！	21年6月11日～16日	新宿高島屋
食品元気まつり	21年10月4日	函館市水産物地方卸売市場
北のマルシェ / 道産食品の産直販売	21年10月17日、18日	道庁赤れんが前庭
オータムフェア / 渡島管内特産品フェア	21年10月27日	渡島支庁道民ホール
冬の北海道物産大会	22年1月13日～19日	阪急うめだ本店
札幌マルシェ	22年1月28日～31日	札幌ファクトリー
大学ブランド食品フェア	22年2月3日～7日	イトーヨーカドーエスパ川崎店

函館地域での販売促進、販路拡大活動

(ア) 公共施設等での商品展示

(イ) 市電中吊りポスターの掲出による「がごめ昆布とアンテナショップ」の広報

地域ブランド形成の支援活動

(ア) 販売拠点の支援

(イ) がごめ昆布料理店の開拓

(ウ) 調理法の普及や新メニューの開発の支援

支援活動を行ったイベント	実施日
函館大妻高校食物健康科でのがごめ昆布料理の特別授業	21年7月9日
函館がごめカフェでの一般市民向けがごめ料理試食会	21年9月5日
	21年12月8日
北海道全調理師会渡島支部でのがごめ昆布の料理紹介	21年11月8日
	21年12月18日
居酒屋魚丸でのがごめ創作料理の試食会（関係者対象）	21年9月30日
居酒屋魚丸でのがごめ創作料理の食事会（一般市民対象）	22年2月26日

販売チャンネルの拡大支援

大学との連携によりブランド化した商品等について、地域企業の生産体制や企業の経営体質を踏まえて販売チャンネルの拡大支援を行った。

新商品試作支援と販売促進資料提供の実績

地域	新商品試作支援	販売促進資料提供
函館圏企業	10件	35件
道内企業	1件	1件
道外企業	6件	4件

函館圏企業とは、函館市、北斗市及び七飯町内の企業をいう。

(11) 地域新ビジネス創出モデル事業

地域のニーズや素材を基にしたビジネス化のアイデアを掘り起こし、道内の大学等が有する知的資源や産業支援機関の支援機能を活用しながら、地域が主体となった産業の創出・事業化を推進することを目的として次のテーマについて研究開発を行った。

(ア) 幼体移植式藻場造成法の事業化

従来の藻場造成は、海藻が着生する基質となるコンクリート製の藻礁などを沈設する手法が主に用いられてきたが、この方法は海藻の自然着生に依存した方法であるため、確実性が低く、目的とする海藻種が着生しないなどの問題があった。本事業では、室内で培養した海藻の幼体を藻場造成区画に取り付けることにより、確実かつ効率的に藻場を造成する移植種苗による藻場造成システムを確立し、日本沿岸各地での藻場造成事業へ展開した。

(12) 高度技術開発等事業

研究開発事業

(ア) 高度技術開発・応用研究事業

地域のニーズに根ざした次の10テーマについて、研究開発を実施した。

- a 水産食品製造業における工学的インブルーの適用に関する研究（H20～22）
 - b 未利用エネルギーの有効活用に関する研究（H19～21）
 - c 傾斜機能耐磨耗工具材料の開発（H21～23）
 - d 農水畜産系高分子のリサイクル技術の開発（H20～22）
 - e 真空を応用した光機能材料の薄膜プロセスに関する研究（H21～23）
 - f 食品水分状態を指標としたドライシステムに関する研究開発（H20～22）
 - g 生物情報の有効活用と地域バイオマス資源の高付加価値化に関する研究開発（H20～22）
 - h 農水産資源の素材を活用した商品化に関する研究開発（H20～22）
 - i 分子生物学的手法を利用した水産食品等の品質評価技術に関する研究開発（H20～22）
 - j 素材特性を生かした地域水産資源の高付加価値化に関する研究開発（H21～23）
- （イ）起業化支援等研究推進事業
大学、公設試験研究機関、企業との共同研究及び起業化に関する調査を実施した。

試験分析事業

地域企業からの依頼を受けて、材料の強度試験、成分分析、食品の微生物検査等の各種依頼試験・分析を実施した。

依頼試験・分析件数 235件

技術相談事業

（ア）個別技術相談

地域企業から技術的課題等について相談を受け、助言をした。

個別技術相談件数 425件

（イ）巡回技術相談

地域企業の技術向上を図るため、道立工業技術センターの研究員が生産現場を巡回し、各企業の当面する技術的課題について相談を受け、助言をした。

相談件数 7件

研修事業

研究開発の成果や新技術の普及等を図るため、次の発表会及び研修会を実施した。

（ア）一般技術研修

内 容	実施日	参加人数
道立工業技術センター 研究成果発表会	21年7月10日	90名
計測・制御技術（研修会）	21年8月28日	16名
食品の品質評価手法とデータの活用（研修会）	21年10月23日	31名
わかりやすい食品製造機器の洗浄技術の基礎（研修会）	21年11月10日	17名
食品開発のユニバーサルな発想と品質評価（研修会）	21年11月10日	8名
粉碎・分級に関するセミナー	22年3月11日	8名

（イ）個別技術研修

企業等の多様な技術的課題に対応する研修を実施した。

開催回数 25回

開催日数 27日間

参加人数 32名

技術情報提供事業

日本工業規格（JIS）の最新版、工業技術に関する専門図書、国内研究機関・大学・大手企業等の研究報告書、定期刊行物等を図書資料室に開架し、一般の利用に供した。

広報等事業

工業技術センターの積極的な活用を図るため、次の事業を実施・参加した。

名 称	実施時期	内 容
「HITEC ニュース」を WEB サイト掲載	21 年 6、9、12 月、 22 年 3 月	活動報告を中心とした技術情報の提供
「業務報告書」の発行	21 年 6 月	平成 20 年度道立工業技術センターの 業務内容の報告、発行部数：1,700 部
フーマジヤパン 2009 （国際食品工業展）アカミックラサ	21 年 5 月 27 日～30 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
大学は美味しい！！	21 年 6 月 11 日～16 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
第 24 回北海道産品取引商談会	21 年 6 月 16 日、17 日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
第 8 回産学官連携推進会議	21 年 6 月 20 日、21 日	研究開発成果の紹介と展示（京都市）
第 5 回はこだて水産食品展示フェア	21 年 6 月 24 日	研究成果品展示等（函館市）
函館開港 150 周年記念事業	21 年 8 月 8 日～16 日	研究成果品展示等（函館市）
機能性食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌 2009	21 年 9 月 7 日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
バイオジャパン 2009	21 年 10 月 7 日～9 日	研究開発成果の紹介と展示（横浜市）
食品開発展 2009	21 年 10 月 14 日～16 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
北洋銀行インフォメーションパザール In Tokyo 2009	21 年 10 月 20 日、21 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
サッポロヘルス & ビューティフェア 2009	21 年 10 月 24 日、25 日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
第 23 回北海道技術・ビジネス交流会	21 年 11 月 12 日、13 日	研究開発成果の紹介と展示（札幌市）
アグリビジネス創出フェア 2009	21 年 11 月 25 日～27 日	研究開発成果の紹介と展示（千葉市）
ふじのくに食と農健康づくりフェア	22 年 2 月 5 日	研究開発成果の紹介と展示（静岡市）
2010 スーパーマーケット・トレードショー	22 年 2 月 8 日～10 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
第 22 回北海道産品取引商談会	22 年 2 月 16 日	研究開発成果の紹介と展示（東京都）
第 7 回シーフードショー大阪	22 年 2 月 16 日、17 日	研究成果品展示等（大阪市）
2010 サンエスコンフェクショナリー・フェア	22 年 2 月 17 日	研究成果品展示等（東京都）
第 22 回北海道産品取引商談会	22 年 2 月 18 日	研究開発成果の紹介と展示（大阪市）
北海道-NZ 商談会	22 年 2 月 22 日	研究成果品展示等（札幌市）

地域産業化支援事業

地域における産学官の連携を図って、大学や道立工業技術センターの技術シーズの地域企業への移転を促進し、新製品や新事業の創出を図ることを目的に下記の事業を実施した。

- ・ 機械部品の超精密加工技術に関する産業化支援研究
- ・ 機能性探索による地域食品素材のブランド力向上のための研究開発
- ・ 近赤外分析による地域食材及び加工食品の品質評価技術の開発

受託研究開発等事業

企業等における研究開発や新製品の開発を促進するため、受託研究及び共同研究を実施した。

- ・ 受託研究 9件
- ・ 共同研究 28件

北海道立工業技術センター管理運営事業

北海道からの委託を受け、工業技術センターの運営、機器等の維持管理を行った。

また、北海道から指定管理者の指定を受けて工業技術センターの維持管理を行った。

視察等来場者数 1,192名

知的クラスター創成事業（グローバル拠点育成型）「函館マリンバイオクラスター」

（事業期間：21年度～25年度）

文部科学省の委託事業として、これまで当地域において実施されてきた都市エリア産学官連携促進事業「一般型」、「発展型」により、地域産業の競争力強化や新産業創出等を目指して産学官連携活動等が行われてきたが、知的クラスター創成事業では更に、地域の自立化を促進しつつ、国際的に強み・特徴のある研究ポテンシャルや技術的にコアとなるシーズを活かして、グローバルな展開を図ることにより、国際競争力を有する地域クラスターの育成を推進するもので、平成21年度は次の事業を実施した。

（ア）研究開発

海を計測可能な巨大な生産システムと捉え、海洋生物由来有価物の持続的生産に必要なキーテクノロジーを総合的に研究開発し、持続的に発展可能なマリン産業クラスターを形成する。

環境を予測しつつ循環的に生産活動を発展させることにより、関連産業群の発展と沿岸の環境浄化・CO₂高効率固定を同時に実現するとともに海洋由来食料生産モデルを戦略的に確立してわが国の食料問題に貢献するほか、東アジアの生産拠点から環太平洋へと取組を発信・展開する。このため、次の4テーマの研究開発を推進した。

- a 海洋空間情報を活用した沿岸生物相・水圏環境の健全化と高次活用の両立
- b 高機能性物質を含有する北方系メガベントスの自立型バイオファーミング
- c メガベントスの生物特性を活かした高機能資源創出のための研究開発
- d 食と健康のグローバル・スタンダード構築のための研究開発

メガベントス：水域に生息する大型底生魚介類（海藻類、チョウザメ等）

（イ）産学官連携体制の強化のための活動等

クラスター拠点の形成、広域的な産学官ネットワークの構築及び事業化推進を図るため、東アジア圏のマリン・バイオ関連研究機関との連携・交流事業を始めとする各種の関連事業を実施した。

（ウ）成果育成・技術移転

クラスター事業の周知と共同研究事業への参画呼びかけを目的とし、キックオフセミナーの開催や関連業界や研究機関を対象とした各種の事業紹介、講演会、普及事業等を実施した。

広域的新事業支援ネットワーク拠点重点強化事業（函館地域バイオ産業クラスター推進事業）

北海道経済産業局の委託事業として、当地域の特色であるマリン・バイオ分野の研究成果を引き継ぎ、実用化の担い手となる当該地域の企業群と推進組織の有するビジネスネットワーク等との連携・補完を図りながら各種展示会やビジネスマッチング等の機会を活用し、市場ニーズに的確に対応した

商品開発や販路開拓支援等を実施した。

事業名	内容
(ア) ネットワーク形成事業	クラスター連携会議(1回)
(イ) 新事業創出支援事業	マリンバイオクラスター事業等成果品の技術・品質評価、販路開拓・拡大調査 ・実施企業数：4社 ・実施テーマ：「水産珍味製品」、「餅菓子製品」、「人体呼吸計測装置」、「長期保存麺製品」
(ウ) 連携促進事業	a 北海道バイオ産業クラスターフォーラム・総会、企業プレゼン会 b バイオビジネス経営塾
(エ) 販路開拓支援事業	a 第24回北海道産品取引商談会(札幌会場) b 機能性食品・化粧品ビジネスマッチング in 札幌 2009 c バイオジャパン 2009 d 食品開発展 2009 e サッポロヘルス&ビューティフェア 2009 f 2010 スーパーマーケット・トレードショー g 第22回北海道産品取引商談会(東京・大阪会場) h 2010 サンエスコンフェクショナリー・フェア i 北海道 - NZ 商談会

平成21年度戦略的基盤技術高度化支援事業

「3D-E L; 無機ELシートの3次元一体成形による操作パネルの開発」(事業期間: 21年度)
経済産業省からの委託で、我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発等を促進する事業を行った。

現在、情報家電等の操作パネルは、部品点数低減、設計・組立コストの低減、省電力化、薄型化、新しいデザイン、ユーティリティ向上などが求められている。本事業では、ELシートの構造などを検討して成形性を高めながら、3次元一体成形に適した金型形状・クリアランスなどの金型設計技術、加熱・冷却システム等を備えた成形装置と成形技術、更に品質保証できる検査技術を確立し、3D-E Lの量産化を目指した。平成21年度の実施内容は次のとおり。

(ア) 研究開発

- a 3D-E L 絞り成形試作装置の仕様決定
- b 金型、機構設計
- c 成形実験
- d 検査装置によるEL構造の変異分析及び検査方法の確立
- e 信頼性試験評価

(イ) 研究開発委員会

研究開発計画の適正な進捗の確保と管理及び事業化に向けた課題についての検討(3回)

(ウ) 特許発掘検討会

3D-E L 研究開発に関わる特許発掘の可能性及び特許戦略の検討(1回)

地域資源活用新商品開発支援事業

平成15年度から平成20年度まで実施した都市エリア産学官連携促進事業により蓄積された技術及び地域資源を活用して、地域企業による地域資源活用型新商品の速やかな創出を図るため、新商品開発に関する試験・分析・試作等の支援を行った。

(13) 地域産業活性化事業

起業化助成事業

地域企業が起業化に向けて行う事業に対し、次の2件について助成した。

企業名	研究開発テーマ名	助成額
有限会社日新商会	しゅうまいの品質向上と新商品の開発	1,512 千円
有限会社パテントワークス	人間の座位バランスツールの開発	4,445 千円

市場・販路開拓等事業

(ア) 地域技術・製品市場販路開拓事業

a 北洋銀行インフォメーションバザール in Tokyo 2009

函館ガゴメ昆布関連商品を首都圏に向けて紹介し、首都圏市場における販売ルートの開拓や販路拡大を目指す商談会に参加した。

会期 平成21年10月20日～平成21年10月21日

会場 サンシャインシティ（東京都池袋）

入場者 3,512 名

b 第23回北海道技術・ビジネス交流会（ビジネス EXPO）

「はこだて21ビジネス交流ゾーン」をビジネス EXPO に設置し、地域企業等の市場開拓・販路拡大を支援した。

会期 平成21年11月12日～平成21年11月13日

会場 アクセスサッポロ（札幌市）

入場者 19,011 名

【出展内容】

企業名	主な出展品
有限会社エイトファーム	無臭地帯フラボ（消臭剤）他
株式会社エルフィン	ペーパーライト・ネオ他 EL 関連商品
加藤組土建株式会社	重金属吸着剤、環境共生 LED 照明等
株式会社タイヨー製作所	アクアクッカー
株式会社中山薬品商会	がごめだしぼん、がごめ黒酢他
函館酸素株式会社	液体窒素凍結保存容器、手のひらサイズの各種ガスボンベ
株式会社函館セコニック	セグメント EL
函館ラバープロダクツ研究所	特殊ゴム製品
有限会社パテントワークス	ReBNA（鼻呼吸をサポートするトレーニングマスク）他
道立工業技術センター紹介ブース	地域資源を活用した特徴のある企業製品の紹介 ・かごめ昆布関連商品（食品・化粧品） ・熊石深層水関連商品 ・いかしゅうまい等 共同研究等の紹介 ・環境対応商品開発における温度測定事例の紹介 ・ReBNA（鼻呼吸をサポートするトレーニングマスク） 函館市産業支援センター入居企業の商品紹介

(イ) 出展支援助成事業

函館地域の企業等が展示会等に参加して自社の有する技術シーズをPRし、販路拡大を図るとともに、需要の開拓に必要な情報や他社の技術動向に関する情報等を収集するなどの活動に対し一定の助成を行った。

実績 5件

企業名	実施日	展示会名	助成額
(株)エクスプローラ	21年5月13日～15日	第12回組込み開発技術展	609千円
(株)タイヨー製作所	21年5月27日～29日	札幌パック2009	539千円
(株)マイスター	21年10月2日、3日	デジタルマップフェア2009	288千円
(有)文字堂	21年10月9日、10日	2009手づくりフェスティバルin北海道	169千円
(株)管製作所	21年11月17日～19日	第22回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	138千円

起業化促進事業

(ア) 起業化コーディネート事業

起業化を促進するため、専門家を派遣して助言等を実施した。

実績 3件

(イ) 起業化スタートアップ実技研修事業

名称	実施日	実施場所	講師	参加人数
パソコンによるパンフレット・ポスター作成実技研修会	21年11月25日、26日	函館市産業支援センター	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤智亮氏 木戸浦康之氏 吉田侑加氏	11名

函館地域産業活性化企業誘致活動事業

函館地域産業活性化協議会（函館市、北斗市及び七飯町で構成。財団は、協議会の事務局を担当）として経済産業省の補助を受け、首都圏に企業誘致推進員を配置しての企業誘致活動を中心に事業を推進した。企業誘致推進員は、これまでの経歴を生かした企業訪問活動のほか、アンケート調査結果を活用した新規訪問企業の開拓などにより、企業立地動向の情報収集や当地域の企業立地環境の優位性についての情報を発信しながら、首都圏企業と当地域との橋渡しを行う中で企業誘致活動を実施した。また、函館地域産業活性化協議会として国内最大級のIT・エレクトロニクス分野の総合展示会であるシーテックジャパン2009に出展し、当地域の立地環境の優位性や助成制度等をPRした。

(14) 函館市産業支援センター運営事業

函館市から指定管理者の指定を受け、産業支援センターの運営並びに建物機器の管理を行うとともに、IT起業家支援施設（eスペースはこだて）の施設管理を行った。

函館市産業支援センター指定管理者業務

指定管理者として、函館市産業支援センターの管理を行い、高度な技術を要する研究開発型企業及び新規事業を展開する企業の育成を目的に、下記のとおり実施した。

(ア) インキュベーター・ファクトリーへの入居者募集及び入居相談受付

a 入居企業募集及びPR活動

- ・ 市内関係施設やイベント・諸会議でのパンフレット配布

- ・ 新聞報道及び機関誌等への掲載
 - ・ ビジネス EXPO への出展
- b 入居相談受付
- ・ 入居相談件数 3 件
- c 函館市産業支援センター利用実績

項目	利用数
インキュベーター入居企業	2 社
インキュベーターファクトリー入居企業	4 社
マルチメディアルーム、デザイン開発室利用者	850 名
視察来館者	18 名

(イ) インキュベーション・マネジャー等による入居者への経営支援等

- a インキュベーション・マネジャー、道立工業技術センター研究員及び産業支援センター職員による技術的アドバイスや補助事業等の情報提供
- ・ 入居企業に対する指導回数 29 回 / 年

(ウ) 入居企業等の交流・情報交換及び関係機関との連携

- a 入居企業、卒業企業及び関係機関関係者の交流、情報交換のため懇親会を開催
- b 起業等に関する図書を函館市産業支援センターロビーに設置
- c 事業推進のための関係機関等との連携

(エ) 入居企業の商品サービスの PR 等を側面から支援

(オ) パソコン実技研修会

名称	実施回数	講師	参加人数
写真編集実技研修会（初級）	4 回	(株)グローバル・コミュニケーションズ 伊藤智亮氏 吉田侑加氏	21 名
イラスト作成実技研修会（初級）	4 回		15 名
パンフレット・ポスター作成実技研修会（中級）	4 回		23 名
パワーポイント作成実技研修会	2 回		12 名

(カ) 創業支援セミナー開催

開催日：平成 22 年 2 月 25 日 会場：サン・リフレ函館

タイトル	講師	参加人数
第 1 部「人生はいつからだって変えられる ～時給 850 円からのアルバイトから社長へ～」	(株)ミュゼ 代表取締役 谷あゆみ氏	51 名
第 2 部「創業の心構えと開業の際の諸手続と実務」	(株)セントラル総合研究所 代表取締役 長野修三氏	

IT 支援事業施設（e スペースはこだて）管理業務

IT 関連の若手起業家を育成して、IT 産業の振興に資するための「e スペースはこだて」の施設管理を行った。

(ア)「e スペースはこだて」利用実績

- ・ インキュベーター入居企業 2 社